5 精監査第12号 令和5年8月16日

精華町長 杉浦 正省 様

精華町監査委員 井 上 直 樹

同 松田孝枝

令和4年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和4年度精華町国 民健康保険病院事業特別会計決算を審査したので、その結果について次のとおり意 見を提出します。

第1 審査の期間

令和5年6月23日から8月16日まで

第2 審査の手続

町長から提出された決算諸表が、事業内容を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿と関係証拠書類との照合やその他必要と認められる審査手続を実施した。また、地方公営企業法第3条における経済性が発揮されているか、町民の福祉の向上に寄与しているかについての把握を主眼として、関係職員から説明を聴取するなどにより審査を実施した。

第3 審査の結果

- 1 審査に付された決算諸表は、前記により審査した限りにおいて、地方公営企業法その他関係法令に従って作成され、その計数は正確であり、財政状態及び経営成績を適正に表示しているものと認める。
- 2 予算の執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行は、地方 公営企業法の経営の基本原則の趣旨に沿って適正に処理されているものと認め る。

第4 補足意見

1 指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況について

指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況を概観する。

病床利用率は、平成23年度に医療法人医仁会が指定管理者に再指定されて 以降、95%前後で推移していたが、再々指定された令和3年度は87.6%、当年 度は86.6%と減少している。患者数は、入院が15,808人(前年度15,996人)、 外来は42,467人(前年度46,226人)と前年度より減少している。しかし、患者 一人の一日当たりの診療収入は、入院は28,614円(前年度27,224円)、外来は 9,684円(前年度8,538円)に増加している。これらの結果、収益面では、入院 が452,329千円(前年度435,481千円)、外来が411,238千円(前年度394,678千 円)、訪問リハビリなどのその他が29,570千円(前年度35,895千円)となって いる。参考までに、指定管理者に指定された平成18年度、指定管理者に再指 定された平成23年度及び当年度の患者数は以下のとおりである。

(単位:人)

	令和4年度	平成23年度	平成18年度
入院患者数	15, 808	17, 283	8, 297
外来患者数	42, 467	27, 952	25, 815
合計	58, 275	45, 235	34, 112

当年度末現在の職員数をみると、医師は8名(前年度8名)であり、看護師20名(前年度22名)も含めた職員数は69名(前年度末69名)となっている。また、非常勤職員数について、医師18名(前年度末19名)、看護師21名(前年度末20名)など、合計54名(前年度末60名)であり、当年度末現在の職員数は減少している。医業費用に含まれる給与費は608,876千円となり、前年度の621,501千円から12,625千円(2.0%)減少している。

以上の結果、当年度の医業利益は5,752千円(前年度は医業損失7,774千円)、 当年度純利益は3,217千円(前年度は純損失13,568千円)となっている。主な 数字の5年推移は以下のとおりである。

なお、平成28年度から令和元年度までは純損失を計上した後、令和2年度は純利益、令和3年度は純損失を計上し、当年度は再び純利益を計上している。近年、収入合計が堅調な推移を示す一方で、給与費負担が増加傾向にあったが、令和3年度と当年度を比較すると、収入合計額はそれぞれ887,817千円、914,094千円に対し、給与費はそれぞれ621,501千円、608,876千円であり、当

年度は給与費負担が減少した。

また、平成27年度に142,977千円まで縮小した累積赤字(繰越損失)は、 当年度末では216,355千円(前年度219,572千円)になっている。そのため、町 から指定管理者に対して、例年どおり、令和4年6月に1億円を貸し付け、令 和5年3月にその返済を受けている。利率は0.06%であり、この貸付金により 医業外収益に計上された受取利息は46,027円である。

(単位:人、千円)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
入院患者数	15, 808	15, 996	16, 287	16, 924	16, 763
外来患者数	42, 467	46, 226	41,653	40, 980	39, 988
医業収益	893, 137	866, 055	847, 510	849, 532	838, 887
医業費用	887, 385	873, 829	824, 681	858, 647	838, 507
医業利益	5, 752	△7,774	22, 829	△9, 115	380
純利益	3, 217	△13, 568	7, 994	△26, 986	△17,888
繰越損失	△216, 355	$\triangle 219,572$	△206, 004	△213, 998	△187, 012

2 計画的な固定資産の改修等について

精華町国民健康保険病院の運営は指定管理者制度を採用しているため、町が 公有財産である病院の建物等の改修や更新を行う必要がある。当年度において、 減価償却の対象となる有形固定資産の取得原価は1,172,788千円、取得時から の減価償却費の累計額は743,534千円である。減価償却の対象となる有形固定 資産の取得原価のうち当該固定資産の減価償却累計額が占める割合であり、資 産の老朽化度合いを表す当年度の有形固定資産減価償却率は63.4%である。近 年、この指標値が増加し、償却資産の老朽化が進んでいるため、「精華町国民 健康保険病院長寿命化計画」に基づき、改修、更新等を計画的に実施する必要 がある。

第5 決算の概要

1 予算執行状況について

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 収益的収入

(単位:千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
病院事業収益	29, 101	27, 982	△ 1,119	
医業外収益	29, 101	27, 982	△ 1,119	96. 2

収益的収入の決算額は、27,982千円で、予算額29,101千円に対し、 1,119千円の減、収入率は96.2%となっている。予算額に対する医業外収 益の減は、一般会計負担金の減等によるものである。

イ 収益的支出

(単位:千円、%)

	区	分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
病院事業費用		41, 546		0	1,087	97. 4	
	医業費	費用	41, 445	40, 459	0	986	97. 6
	医業夕	 費用	101	1	0	100	0.7
		美失	0	0	0	0	_

収益的支出の決算額は、40,459千円で、予算額41,546千円に対し、1,087千円の減、執行率は97.4%となっている。予算額に対する医業費用の減は、委託料の減等によるもので、医業外費用の減は、その他雑支出が発生しなかったことによるものである。

ウ 収支の状況

収入決算額 27,982千円

支出決算額 40,459千円

であり、収支差引12,478千円の赤字となっている。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入

収入率 区 予算額 決算額 対予算額増減 分 資本的収入 112, 140 102, 493 \triangle 9,647 91.4 他会計負担金 12, 140 2,493 20.5 \triangle 9,647 貸付金償還金 100,000 100,000 100.0

(単位:千円、%)

(単位:千円、%)

資本的収入の決算額は、102,493千円で、予算額112,140千円に対し、 9,647千円の減、収入率は91.4%となっている。

貸付金償還金は、町の貸付けに対する指定管理者からの償還金である。

イ 資本的支出

区 分 予算額 決算額 翌年度繰越額 不用額 執行率 資本的支出 112, 140 102, 493 91.4 9,647 建設改良費 12, 140 2,493 0 9,647 20.5 貸付金 100,000 100,000 0 100.0

資本的支出の決算額は、102,493千円で、予算額112,140千円に対し、 9,647千円の減、執行率は91.4%となっている。

建設改良費の決算額は、2,493千円で、病院施設改修工事等に係る事業 費である。

貸付金は、指定管理者に対する貸付金で、決算額は前年度と同額の100,000千円となっている。

ウ 収支の状況

収入決算額 1

102,493千円

支出決算額

102,493千円

であり、収支差引0円となっている。

2 経営成績等

(1) 損益の状況について

損益の状況は、次のとおりである。

(単位:千円、%)

区分	令和4年度	令和3年度	増めるが	減
			金額	率
医業収支				
医業収益	0	0	0	_
医業費用	40, 459	44, 371	△ 3,912	△ 8.8
医業利益	△ 40, 459	△ 44,371	3, 912	
医業外収支				
医業外収益	27, 982	31, 528	△ 3,546	△ 11.2
医業外費用	1	1	△ 0	△ 0.1
医業外利益	27, 981	31, 527	△ 3,546	△ 11.2
経常利益	△ 12, 478	△ 12,844	366	
特別損益	0	△ 40,574	40, 574	_
特別利益	0	0	0	_
特別損失	0	40, 574	△ 40,574	皆減
純利益	△ 12, 478	△ 53,418	40, 940	

医業損益は40,459千円の損失で、前年度と比較して損失が3,912千円 (8.8%)減少している。医業外損益は27,982千円の利益で、前年度と比較して3,546千円 (11.2%)減少している。この結果、経常利益は、12,478千円の赤字となった。特別損益の計上がなかったことから、純損失は経常利益と同額の12,478千円で、前年度と比較して40,940千円減少している。

ア収益

収益の状況は、次のとおりである。

(単位:千円、%)

	区		分		令和4年度	令和3年度	増	減
			<u>カ</u>		7744 十茂	17年3年度	金額	率
医	業	収	益		0	0	0	_
	入院山	又益			0	0	0	_
	外来』	又益			0	0	0	_
	その作	也医	業収額	益	0	0	0	_
医	業	外	収	益	27, 982	31, 528	△ 3, 546	△ 11.2
	受取利]息及	び配	当金	46	2	44	1,884.0
	国・月	守補具	助金		0	0	0	_
	負担金	金交付	寸金		10, 056	13, 486	△ 3, 430	△ 25.4
	長期前	前受金	金戻	入	17, 353	17, 340	13	0. 1
	その作	也医	業外に		527	700	△ 173	△ 24.7
特	別利孟	É			0	0	0	_
	過年月	 度損ā	益修」	正益	0	0	0	
,,,,,,,,,,,	その作	也特別	引利	益	0	0	0	_
	合			計	27, 982	31, 528	△ 3, 546	△ 11.2

医業収益は、利用料金制により指定管理者が診療費等を直接収入しているため発生していない。

医業外収益は、27,982千円で、前年度と比較して3,546千円(11.2%)減少している。これは、医業費用の減少により、一般会計負担金が3,430千円減少したことなどによるものである。

以上の結果、総収益は、27,982千円で、前年度の31,528千円と比較して3,546千円(11.2%)の減少となっている。

イ 費用

費用の状況は、次のとおりである。

(単位:千円、%)

			^\	人 4 左 左	人怎么欠点	増	減
	区		分	令和4年度	令和3年度	金額	率
医	業	費	用	40, 459	44, 371	△ 3,912	△ 8.8
	給与	貴		9, 225	9, 170	55	0.6
	経費			1, 409	5, 010	△ 3,601	△ 71.9
	減価値	賞却	 費	29, 784	30, 191	△ 407	△ 1.3
	資産》	或耗?	費	41	0	41	皆増
	研究研	研究研修費		0	0	0	
医	業	外	費用	1	1	△ 0	△ 0.1
	支払和 企業債		及び 扱諸費	1	1	△ 0	△ 0.1
	雑支と	L		0	0	0	_
特	別損失	ŧ		0	40, 574	△ 40, 574	皆減
	過年月	度損.	益修正損	0	0	0	_
	その作	也特別	別損失	0	40, 574	△ 40, 574	皆減
	合		計	40, 459	84, 946	△ 44, 487	△ 52.4

医業費用は、40,459千円で、前年度と比較して3,912千円(8.8%)減少している。これは、委託料の減少により、経費が3,601千円減少したことなどによるものである。

医業外費用は、1千円で、前年度と比較して微減(0.1%)している。

以上の結果、総費用は、40,459千円で、前年度の84,946千円と比較して44,487千円(52.4%)の減少となっている。

(2) 純利益額等の推移について

平成25年度以降の純利益(損失)額、入院・外来患者数、人件費と薬品費の各医業収益比等の推移及び医業収支及び純利益(損失)額の推移については、それぞれ次表に示すとおりである。

◎ 純利益(損失)額推移表

区別 年度	純利益(損失)額	利益剰余金	他会計からの繰入金
25年度	△ 26,677	△ 100,650	9, 071
26年度	△ 14,662	256, 106	9, 638
27年度	△ 14, 178	241, 928	9, 038
28年度	△ 13, 231	228, 696	9, 953
29年度	△ 2,881	225, 816	10, 385
30年度	△ 13, 189	212, 627	9, 922
令和元年度	△ 18,328	194, 299	10, 228
令和2年度	△ 13, 154	181, 145	12, 113
令和3年度	△ 53,418	127, 727	13, 486
令和4年度	△ 12,478	115, 249	10, 056

(単位:千円)

(単位:人)

◎ 入院患者延数及び病床利用率推移表 (参考)

年度区別	許可病床数	患者延数	1 日平均 患者数	病床利用率	備考
25年度	50床(18,250床)	17,342人	47. 5人	95.0%	
26年度	50床(18,250床)	17,365人	47.6人	95. 2%	
27年度	50床(18,300床)	17,063人	46.6人	93. 2%	
28年度	50床(18,250床)	17,426人	47. 7人	95. 5%	
29年度	50床(18, 250床)	17,447人	47.8人	95.6%	指定管理 者による
30年度	50床(18,250床)	16,763人	45.9人	91.9%	運営
令和元年度	50床(18,300床)	16,924人	46. 2人	92.5%	
令和2年度	50床(18,250床)	16,287人	44.6人	89. 2%	
令和3年度	50床(18, 250床)	15,996人	43.8人	87.6%	
令和4年度	50床(18,250床)	15,808人	43. 3人	86.6%	

◎ 外来患者数推移表 (参考)

年度 区別	患者総数	1日平均	内科	外科	整形外科	リハビリ	皮膚科	歯科	透析	泌尿器科	備考
25年度	31, 156	106	14, 194	2, 389	2, 308	(905)	1, 998	6, 912	3, 355	-	
26年度	35, 608	121	15, 742	2, 631	3, 474	(1, 327)	2, 299	7, 125	4, 337	_	
27年度	35, 821	121	14, 779	2, 053	4, 344	(2, 142)	2, 390	7, 682	4, 183	390	16. da 65. am de
28年度	35, 685	121	14, 694	2, 112	4, 708	(2, 161)	2, 461	7, 544	3, 757	409	指定管理者 による運営
29年度	37, 540	125	14, 571	1,888	6, 093	(3, 354)	2, 681	7, 946	3, 835	526	※リハビリ の患者数
30年度	39, 988	137	15, 084	2, 636	5, 961	(3, 352)	2, 658	8, 964	4, 166	519	は、整形外 科における
令和元年度	40, 980	139	14, 469	2, 766	6, 694	(3, 716)	2,664	9, 483	4, 384	520	患者数の内 数です。
令和2年度	41, 653	142	14, 283	2, 849	7, 365	(4, 064)	2, 899	8, 895	4, 807	555	3X C 7 o
令和3年度	46, 226	157	17, 014	3, 414	7, 823	(3, 945)	3, 202	9, 123	5, 058	592	
令和4年度	42, 467	144	16, 158	2, 208	6, 635	(3, 415)	2, 720	8, 632	5, 562	552	

◎ 人件費、薬品費の対医業収益比(参考)

区別	医業収益	人件費		薬品費		人件費·薬品費計		備考
年度	(千円)	金 額(千円)	比率·%	金 額(千円)	比率・%	金 額(千円)	比率·%	mm~3
25年度	787, 410	539, 737	68. 5	64, 363	8. 2	604, 101	76. 7	
26年度	839, 272	564, 777	67. 3	60, 919	7. 3	625, 696	74. 6	指定管理者によ
27年度	835, 878	581, 948	69. 6	57, 792	6. 9	639, 740	76. 5	る運営
28年度	809, 719	593, 499	73. 3	57, 937	7. 2	651, 437	80.5	(※金額は、町 及び指定管理者
29年度	827, 954	614, 084	74. 2	58, 156	7. 0	672, 240	81.2	におけるそれぞれの決算額を合
30年度	838, 887	627, 690	74.8	55, 631	6.6	683, 321	81.5	算した数値と
令和元年度	849, 532	631, 449	74. 3	59, 200	7. 0	690, 648	81.3	し、比率は、これら合算した金
令和2年度	847, 510	600, 625	70. 9	56, 469	6. 7	657, 093	77.5	額に基づき算出 した数値として
令和3年度	866, 055	630, 671	72.8	59, 355	6. 9	690, 025	79. 7	います。)
令和4年度	893, 137	618, 101	69. 2	67, 081	7. 5	685, 182	76. 7	

◎ 医業収支と純利益(損失)額推移表(参考) (単位:千円)

年度区別	医業収益	医業収益 医業費用		純利益(損失)	備考
25年度	787, 410	792, 816	△ 5, 406	5, 087	
26年度	839, 272	842, 168	△ 2,896	24, 544	
27年度	835, 878	843, 931	△ 8,053	22, 160	
28年度	809, 719	854, 650	△ 44,931	△ 15, 553	よる運営
29年度	827, 954	871, 912	△ 43, 958	△ 4,007	(※金額は、 町及び指定管
30年度	838, 887	879, 587	△ 40,700	△ 31,077	理者における それぞれの決
令和元年度	849, 532	907, 866	△ 58, 335	△ 45, 314	算額を合算した数値として
令和2年度	847, 510	868, 032	△ 20, 523	△ 5, 160	います。)
令和3年度	866, 055	918, 199	△ 52, 144	△ 66, 986	
令和4年度	893, 137	927, 843	△ 34, 706	△ 9, 261	